



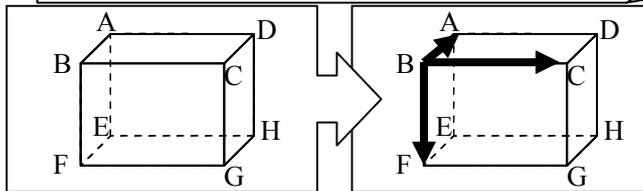
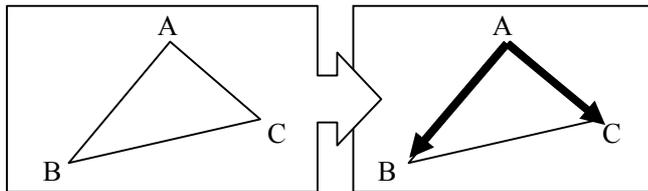
図形問題 (ベクトル) の方針の確認

★ 平面も空間も方針は同じです

1 基準となるベクトルを決める

POINT

平面なら2本、空間なら3本、
始点をそろえて決める



- ※ 問題で指定されている場合は、それを活用しよう。
- ※ 基準をそのまま活用しなくても、始点をそろえることがきっかけになるケースも…

2 5つの技術を活用しよう

ベクトルの分解・1次独立

- ・ 加法: $\vec{a} + \vec{b}$ $\vec{OA} + \vec{OB} = \vec{OB'}$ ・ 減法: $\vec{a} - \vec{b}$ $\vec{OA} - \vec{OB} = \vec{BA}$
- ・ 1次独立: $\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}, \vec{a} \times \vec{b}$ のとき、任意のベクトル \vec{p} は実数 s, t を用いて $\vec{p} = s\vec{a} + t\vec{b}$ の形にただ1通りに表される

ベクトルの内分・外分

$\triangle OAB$ において AB を…

○, \triangle の小さい方にマイナスをつける

- ・ ○ : \triangle に内分 $\frac{\triangle \times \vec{OA} + \circ \times \vec{OB}}{\circ + \triangle}$ ・ ○ : \triangle に外分 $\frac{-\triangle \times \vec{OA} + \circ \times \vec{OB}}{\circ - \triangle}$ ・ 中点 M は $\vec{OM} = \frac{\vec{OA} + \vec{OB}}{2}$

平行条件

$AB \parallel CD \Leftrightarrow \vec{AB} = k\vec{CD}$
となる実数 k がある

一直線上の3点 (共線条件)

3点 A, B, C が一直線上にある $\Leftrightarrow \vec{AC} = k\vec{AB}$
となる実数 k がある (始点一致)

直線上の点 (存在範囲)

点 P が直線 AB 上にある
 $\Leftrightarrow \vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}, s+t=1$

同じ平面上にある点

点 P が平面 ABC 上にある $\Leftrightarrow \vec{AP} = s\vec{AB} + t\vec{AC}$ (s, t は実数)
 $\Leftrightarrow \vec{OP} = r\vec{OA} + s\vec{OB} + t\vec{OC}, r+s+t=1$

内積

$\vec{AB} \cdot \vec{AC} = |\vec{AB}| |\vec{AC}| \cos \theta$ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$)

垂直条件

$AB \perp CD \Leftrightarrow \vec{AB} \cdot \vec{CD} = 0$ ($\vec{AB} \neq \vec{0}, \vec{CD} \neq \vec{0}$)

POINT

空間図形から平面図形を取り出そう

交点 \Rightarrow 2通りに表してベクトルの相等としてみる
垂直・角・線分 \Rightarrow 2乗するなどして内積の利用へ

3 結論に向けてベクトルの変形を

POINT

平面は2本 空間は3本の(単位)ベクトル or 位置ベクトル
・ (単位) 始点が一致したベクトルを決めて他のベクトルを表す。
・ (位置) 計算が楽になるよう (場合によっては成分を定めて) 活用する。